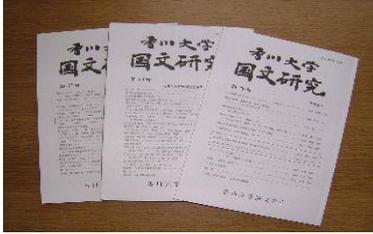


国語領域



香川大学国文学会誌 「香川大学 国文研究」



未来からの留学生「百人一首」大会

国語領域の方針

☆ 国語領域では、「教育実践力を持つ学校教員の育成」を目標として、以下の教育目標を設定しています。小学校教育コースでは、卒業要件としてかならず小学校教諭1種・中学校教育コースでは、卒業要件としてかならず中学校教諭1種（国語）の免許状を取得します。

- 1) 国語に関する基本的な概念・知識と、それを国語科教育の実践に生かす方法の習得をめざす。
- 2) 国語科教師力の基礎となる現代日本語、古典語、近代文学、古典文学、中国古典学、書写・書道に対する専門的な知識と研究方法について学ぶ。
- 3) 小・中学校の国語科教育で扱われている教材の取り扱い方について学ぶ。
- 4) 卒業研究では、日本語学・日本文学・中国古典学・書道・国語科教育学からテーマを選び、研究する。

☆ 基本的に小学校教育・中学校教育の両コースの学生が一緒に学びます。

国語領域の授業

☆ 教科教育系列としては、基礎論→模擬授業→研究授業→教育実習→応用論と段階的・系統的に国語科教師力を伸長し、それを支える教科専門の授業も概論・基礎論→講読→各論演習と段階的・系統的に深めていけるように設定し、領域担当教員全員で分担・協力しながら取り組んでいます。また、学生たちが自主的に運営・活動する自主ゼミも四十年以上にわたって行われており、それぞれの分野で研究成果を毎年発表しています。

国語領域の行事

☆ 子どもたちを迎えての「未来からの留学生」では「いざ行かん、百人一首の世界へ」と題したかるた大会。学生が小学生をサポートします。オープンキャンパスでは、大学での講義等の説明、江戸時代の版本・万葉集や源氏物語の古写本（複製）の展示もしています。行事の企画・実施は、学生が主体です。また、文学にゆかりの地や作家の足跡を訪ねる研修旅行も行っています。

卒業研究・そして、その後へ

☆ 4年次の卒業研究では、上記の通り、専門分野を選び専門性を更に深めていきます。卒業後は、昭和28年以来の卒業生と現役の学生・教員等で構成される「香川大学国文学会」に属し、1年に1度開かれる学会で、研鑽を積むことができます。

卒業後の進路

☆ 小中高の教員になる卒業生が多い他、公務員、企業を目指す学生もいます。